

KiKiの広場

2014年 8月 1日

cafe NO.46
KiKi



今、入口のアーチのジャスミンの蔓がすごいことになっています。2年前の春に植えた苗が2年かけてアーチをおおいつくし、一雨降る毎にぐんぐん蔓を伸ばして、気が付くとフェイジョアの木まで巻き込もうとしています。最近土曜日毎に受付のHさんに、蔓まきをお願いしています。粘土質の狭い土の中で、結構厳しい環境だと思うのですが、この暑さの中まだ伸びるかという感じで、すごいです。見習ってこの夏を乗りきりたいです。

8月の予定

12日(火)	休館日
13日(水) ~16日(土)	お盆休み
毎日曜日	定休日



「今月のケーキ」…「いんごのタルト」350円

カットの大きいりんごをふんだんに使い、シャキシャキ感たっぷりです。タルト生地も香ばしく仕上がっており、甘さをひかえた夏にぴったりのさわやかなタルトです。

今月のお気に入り…「世界の昔ばなし その2」

～「ランパンパン」「なんでも見える鏡」「パンのかけらとちいさなあくま」「かじやとようせい」 などなど～



「世界の昔ばなし」第二弾です。インド民話の「ランパンパン」は、愛する奥さんを王様にうばわれたクロドリが、カエルの皮やクルミの殻で勇ましく武装して、「ランパンパン」と太鼓をたたきながら宮殿に向かい、王様からみごとと奥さんを取り戻すお話です。主人公ながら何とも目つきの悪いそのクロドリのいでたちに思わず笑ってしまいますが、道中、ねこ・アリ・木の枝・川が次々と仲間になり、なんとクロドリの耳の中に隠れて必要な時に出てきて立ち向かうという奇想天外な内容と、「ランパンパン」という響きがいつまでも心に残る、とっても楽しい昔話です。



今月の本棚…「海にちなんだ絵本」

～「なみ」「だんごむしうみへいく」「海べのあさ」「だいちゃんとうみ」「海は広いね、おいしいちゃん」 などなど～



今回は、「海」をテーマに選んでみました。世界各国で翻訳されたという「なみ」は、原題は「Wave」文字のない絵本なので、翻訳といってもこの題名だけなのですが、出版依頼が殺到したそうです。手にとってみて納得。白と黒と水色のみで、女の子と波のかけあいやかもめの動きが、躍動感いっぱいに描かれていて、波の音や潮の香り・風まで感じることができる、すてきな絵本です。手元におきたい1冊です。

ほっとフレイク

元スタッフで育休中のUちゃんが、1歳10か月のIくんを連れてKiKiに遊びに来てくれました。「ママ」「パパ」などの言葉も出て、ストローを木枯らし紋次郎のようにくわえて店内をかつ歩する姿も、カフェパパにとってはめちゃくちゃ可愛いIくんです。でも2歳前後って、本当に目が離せなくて、新米ママは振り回されて大変。スーパーで30分以上ダダをこねて、泣き叫ぶのを連れて帰ったとか。あるあるわが息子も・・・しょうがないから背中に逆さづりにして、周りの人に振り返られながら帰ったこともあったっけ。

近所の同じ年の女の子たちに比べて言葉が遅いと心配するUちゃんですが、カフェのドア越しに「バス」「ダンブ」と車の種類がちゃんと言っているIくん。息子は2歳の頃、車はぜんぶ「バップン」でした。職場の仲間におしゃべりするようになったかと聞かれて、「はい、しゃべりますよ。アーとかウーとか。」と答えて、大爆笑されたのもこの頃でした。都合が悪くなると、「オポポポポ」とか「ピピピピ」とか言ってごまかしていたので、我が家では「パピペ星人」と呼んでいました。(^^)



考えたらわが子の成長と親となった時間は一緒、心配は次から次に山ほど出てきますが、こけたりつまづいたりするのも一緒、親としても当たり前なんですよ。Iくんの1歳の夏はIくんにとってもUちゃんにとっても一度きり、今の大変さも可愛らしさもじっくり味わって、思いっきり楽しい夏にしてほしいなと思います。